

大沢野道路瓦版 ～PI活動報告～

(ぴーあい)

No. 7 2003年1月 編集／大沢野道路PI実行委員会

(問合せ先) ● 国土交通省北陸地方整備局 富山工事事務所 調査第二課 TEL 076-424-9786 FAX 076-424-1772
● 大沢野町 建設課 TEL 076-468-1111 FAX 076-468-2642

(今回のご報告内容)

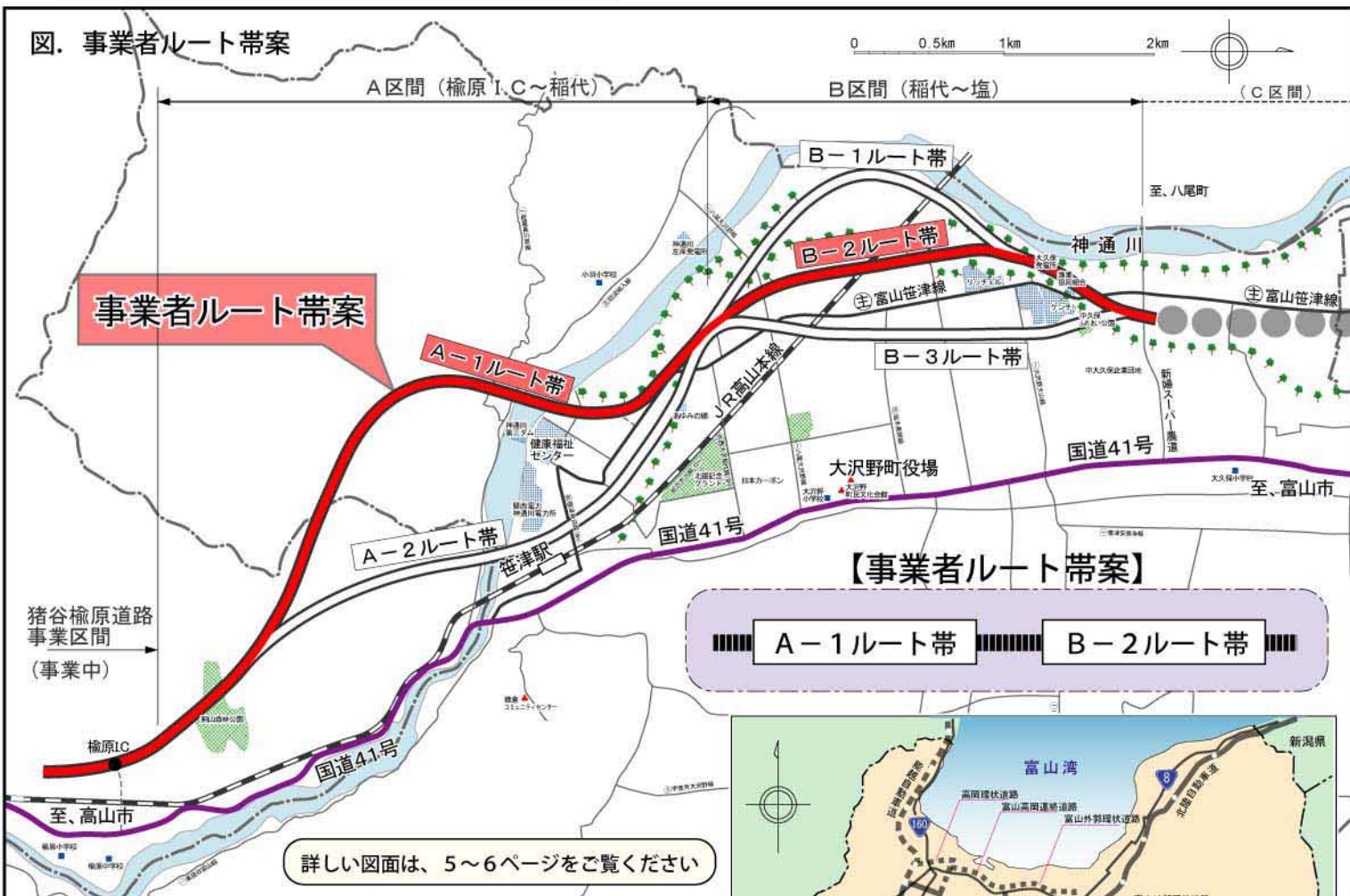
事業者のルート帯案（1案）とインターチェンジ候補案

今回の瓦版では、これまで複数お示ししたルート帯から1つに絞り込みました「事業者案」とともに、インターチェンジ(IC)の配置案を提示いたします。

1. 事業者ルート帯案を選定しました

ご意見をお聞かせください(うら面)

図. 事業者ルート帯案



詳しい図面は、5～6ページをご覧ください

PI活動等において皆さんからいただいた意見をもとに、大沢野道路のルート案を具体的に検討してまいりました。今回は、上に示すルート帯を事業者の案としてご提示させていただきます。

次のページに、このルート帯案を選定した理由を整理しました。

この瓦版では巻末にアンケートをもうけ、この案に対するご意見をお聞きしております。ご協力をお願いいたします。



図. 大沢野道路の位置

2. 事業者ルート帯案は、以下に示す評価にもとづき選定しました

前回瓦版（第4号）でお示したAとBの両区間のルート帯案について、アンケート調査結果などをもとに、事業者が考えるもっとも望ましいルート帯案を選定しました。

【A区間】 楡原IC～稲代区間のルート帯案

評価項目		事業者の評価	ルート帯の比較模式図 (高い位置にある方が、より優れていると判断しています)	町民の皆さんの意見 注1
分類	細目			
広域的な利用	走りやすさ・安全性	道路延長が短く、カーブが緩いA-2が望ましい。		<p>車での移動ならばどちらでも変わらない</p> <p>地区の分断は避けてほしい</p>
	主な施設との連絡	国道41号までの距離に多少の差はあるが実走行時間の差は少ない。健康福祉ゾーンにより近いA-1が望ましい。		
まちづくり支援	まちづくりとのかかわり	A-2の地域分断によるまちづくりへの悪影響を回避する必要がある(右頁参照)		家屋移転をできるだけ少なく
身近な生活環境	家屋の移転	家屋移転の少ないA-1が望ましい。		農地の整備が進んでいる地域なので、農地の斜め切りはよくない
	営農への影響	農地を通過する延長が短いA-1が望ましい。		
	生活環境への影響	市街地から離れ、影響がより少ないA-1が望ましい。		騒音・排気ガスなど環境への影響が気になる
	自然環境、景観への配慮	いずれも詳細な調査が今後必要となる。 ※はば等の自然調査が必要		車優先の考えをあらため、自然環境の保全を優先してほしい
施工性・経済性	施工のしやすさ	構造物の規模(特にトンネル延長)が小さいA-2が施工上有利である。 ※盛土構造が主となる場合		<p>経済性を第一に考えるべきだ</p> <p>利便性に大きな差はないので、建設費用の少ない方を選択するべき</p>
	経済性	事業費の安価な方が望ましいが、今後、より詳細な算出が必要である。 ※地域分断を回避するための高架構造は事業費がかさむ		
町民の皆さんの意見 (意見募集結果)		町民全体のアンケートでは、約5対3の比率でA-2が支持されている。一方、沿線住民の意向をみると支持率に差はない。(右頁参照)		
総合評価		地域分断をできる限り回避し、総合健康福祉ゾーンと一体となった将来のまちづくりを行うことができる A-1ルート帯 を選定します。		

注1：これまでに実施したアンケート調査等の中から、関連するご意見を示しました。

注2：平成14年11月25日付けで、笹津6区住民より「A-1ルート帯を希望」する要望書が、国土交通省富山工事事務所長宛に出されています。

注3：大沢野道路は、インターチェンジ(IC)からしか乗り入れすることができない自動車専用道路です。

注4：総合健康福祉ゾーンとは、町がウインディなどを中心に総合的に開発を進めていくエリアのことです。



～A-1ルート帯を選択した理由（補足説明）～

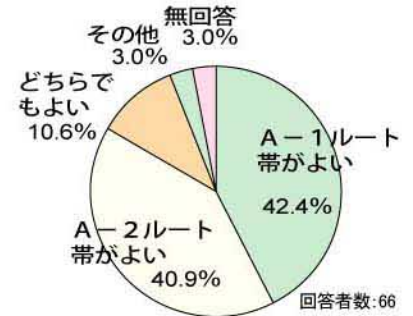
■町民の皆さんの意見について

今回のPIでは、主にアンケート調査により皆さんの意向を把握し、ルート帯選定の参考とさせていただきます。A区間については以下に示すような調査を実施し、より詳細な意向の把握に努めました。

＜第3回意見募集（平成14年6月）以降の意向調査等の実施状況＞

調査の名称 (実施年月)	対象	配布数 (回収率)	結果	備考
第3回意見募集・はがき調査(H14.6)	町全世帯	6,726 (5.7%)	A-1支持(34.4%) A-2支持(52.2%) 【瓦版5号参照】	瓦版にはがきを添付。郵送により回収。
第3回意見募集・サンプリング調査(H14.6)	町在住の15歳以上町民	500 (91.0%)	A-1支持(23.5%) A-2支持(45.5%) 【瓦版5号参照】	自治会役員さんより訪問配布、回収。対象500名は、無作為抽出。
ルート帯周辺地区アンケート調査(H14.10)	ルート帯周辺に在住する町民	348 (84.2%) ※A区間住民のみ	A-1支持(29.6%) A-2支持(52.2%) 【瓦版6号参照】	自治会役員さんより訪問配布、回収。対象は、無作為抽出。
●笹津6区住民からの要望書(注2)(H14.11.25)	-	-	『A-1ルート帯を希望する』	要望書は、笹津6区69世帯中、43世帯の署名入り。主な理由として、「地域分断」や「騒音問題」などがあげられています。
地区説明会でのアンケート調査(H14.12.9)	A区間付近の地区住民	約60名の出席者のうち55名が回答	A-1支持(70.9%) A-2支持(25.5%)	地区説明会は、町主催によるもの。アンケートは、出席された方に配布し、会場で直接記入してもらいました。

■A区間付近住民(鉄道より西側に居住している方々)の意向(平成14年10月実施)



鉄道より西側に居住している方々の意向をみると、支持率はほぼ同率となります。

地区説明会において、主催者である大沢野町より「町としてもA-1ルート帯を望む」という主旨の説明がありました。その理由として、以下の点があげられています。

- ウインディ周辺のまちづくり(公有地の活用)
- JRに加え、道路による更なる笹津地区の分断を回避
- 関電施設の移設や高架構造化などによるコストアップ など

■将来のまちづくり支援について

ルート帯を選択する際には、笹津地区等の地域分断や総合健康福祉ゾーンとのかかわりを重視しました。

＜A区間における大沢野道路とまちづくりの関係(ICの位置は想定)＞

A-1ルート帯の場合(注3)



A-2ルート帯の場合(注3)



【B区間】 稲代～中大久保区間のルート帯案

評価項目		事業者の評価	ルート帯の比較模式図 (高い位置にある方が、より優れていると判断しています)
分類	細目		
広域的な利用	走りやすさ・安全性	道路延長が長くカーブがきついB-1は、他に比べやや劣る。	
	主な施設との連絡	国道41号までの距離が最も短いB-3が望ましいと考えられる。 ※B-2も大きな差はない。	
まちづくり支援	まちづくりとのかかわり	西側への新たな市街地拡大の可能性をより広く確保できるB-1、B-2が望ましい。	
身近な生活環境	家屋の移転	家屋移転の少ないB-1が望ましい。	
	営農への影響	農地通過や斜め分断ができる限り少ないB-2が望ましい。	
	生活環境への影響	住宅地(生活者)への影響が少ないB-2が望ましい。	
	自然環境、景観への配慮	いずれも詳細な調査が今後必要となる。※はば等の自然調査が必要	
施工性・経済性	施工のしやすさ	構造物の規模(高架構造物等)が小さいB-3が施工上有利である。 ※盛土構造が主となる場合	
	経済性	事業費の安価なB-3が望ましいが、今後、より詳細な算出が必要である。	
町民の皆さんの意見 (意見募集結果)		町全体アンケートではB-2が最も支持されているが、B-3支持も差がない。ルート帯周辺地区アンケートではB-2支持が全体の約4割を占め最も多い。	
総合評価		市街地から適度に離れ、将来の市街地拡大やIC周辺のまちづくりも可能。B-1およびB-3のよい面を備えた B-2ルート帯 を選択します。	

町民の皆さんの意見
注1

市街地からルート
を遠ざけて中心部
を活かすことが
必要

少しでも市街地に
近接することにより
利用者も多くな
ると思う

地区の分断は避け
てほしい

家屋移転をできる
だけ少なく

農地の整備が進ん
でいる地域なの
で、農地の斜め切
りはよくない

騒音・排気ガスな
ど環境への影響が
気になる

車優先の考えをあら
ため、自然環境
の保全を優先して
ほしい

経済性を第一に考
えるべきだ

利便性に大きな差
はないので、建設
費用の少ない方を
選択するべき

注1：これまでに実施したアンケート調査等の中から、関連するご意見を示しました。

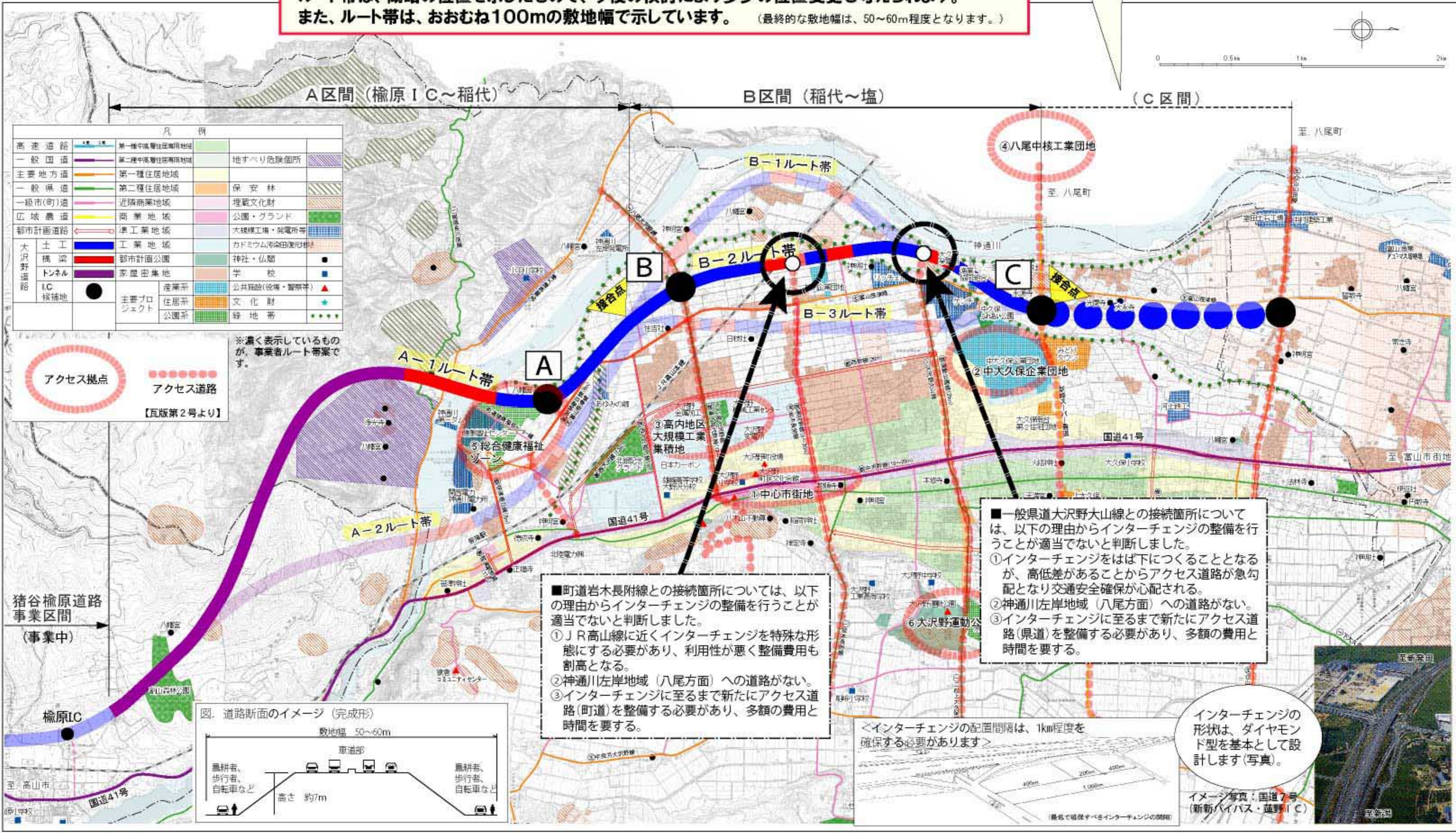
3. 事業者ルート帯案とインターチェンジ候補案

瓦版第4号では、大沢野道路を大きくA～Cの3つの区間に分け、AとBの2つの区間について候補となるルート帯を選定しました。
この中から、事業者として以下のルート帯が最も望ましいものとして選びました。



C区間は、外郭環状道路との位置関係を考慮して、今後具体的に検討する予定にしております。

(おことわり)
ルート帯は、概略の位置を示したもので、今後の検討により多少の位置変更も考えられます。
また、ルート帯は、おおむね100mの敷地幅で示しています。(最終的な敷地幅は、50～60m程度となります。)



左に示した事業者ルート帯案をもとに、連絡道路（既存道路又は計画道路）との位置関係から、インターチェンジを以下の箇所に整備することができます。

A 春日インターチェンジ（仮称）

- 総合健康福祉ゾーン付近にあり、将来のまちづくりを支援することができる。
- 公有地の利用により、インターチェンジ設置にかかる用地費用が節約できる。
- 主要地方道 富山笹津線に比較的近く、アクセス道路の整備が最小限ですむ。

アクセス道路 ※（ ）内の数値は将来道路幅員

- 主要地方道富山笹津線(16.5m)
- 町道福祉センター線(20.75m)

アクセス拠点

- 総合健康福祉ゾーン
(ウィンディ、ゆーとりあ越中など)

B 稲代インターチェンジ（仮称）

- 一般県道八尾大沢野線が整備されており、アクセス道路を新たに整備する必要がない。
- 但し、JR高山線交差部の立体化を検討する必要がある。
- 高内地区工業集積地への連絡が容易となる。
- 小羽地区住民も利用しやすい。（大沢野大橋に接続する）

アクセス道路

- 一般県道 八尾大沢野線(20.0m)
【都市計画道路高内稲代幹線】

アクセス拠点

- 高内地区大規模工業集積地
- 大沢野町役場など中心市街地

C 塩インターチェンジ（仮称）

- 新婦スーパー農道が整備されており、アクセス道路を新たに整備する必要がない。
- 中大久保企業団地への連絡が容易となる。
- 八尾中核工業団地など、神通川左岸地区との連絡に便利である。
- はば（崖線緑地帯）に近く、地形条件に配慮する必要がある。

アクセス道路

- 新婦スーパー農道(9.0~12.0m)
【町道 新婦線】

アクセス拠点

- 中大久保企業団地
- 八尾中核工業団地 等

※○は利点、●は課題

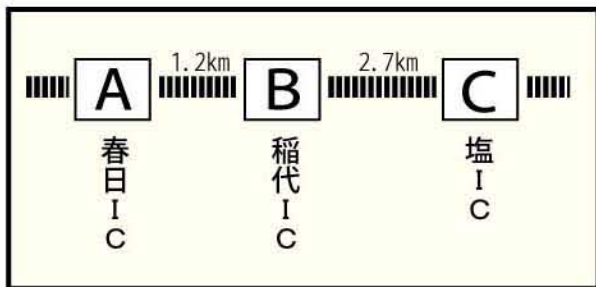
インターチェンジの配置案

上記に示した特性をふまえ、次の2つの配置案を考えています。

各案の特徴

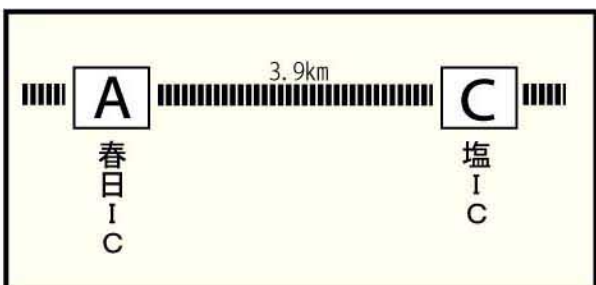
第3回意見募集では、インターチェンジの箇所数について「1~2箇所程度でよい」とする意見が最も多い結果となっています。
(瓦版第5号参照)

第一案



- 小羽地区の利便性
- 中心市街地への利便確保
- 春日 IC と稲代 IC の間隔がやや狭い

第二案



- ICを2カ所にする事で、設置に係る費用や周辺環境への影響がより少ない
- 第一案に比べ、中心市街地や小羽地区への連絡がやや不便

※ICとは、インターチェンジの略です

～皆さんのご意見をお聞かせ下さい～

この瓦版に対するご意見をお聞かせ下さい。以下の質問に対するお答えを、同封いたしました『**回答はがき**』の所定欄にご記入いただき、そのまま投函してください。
今回のアンケート調査等による皆さんのご意見をふまえて、本年3月までに事業者ルート帯とインターチェンジの位置を定めることにしております。

～回答は、同封の『**回答はがき**』に記入しそのまま投函して下さい。～

■問1（性別）

あなたの性別をおしえてください【1つだけ○】

- ① 男性 ② 女性

■問2（年齢）

あなたの年齢をおしえてください【1つだけ○】

- ①20歳未満 ②20歳代 ③30歳代
④40歳代 ⑤50歳代 ⑥60歳以上

■問3（居住地）

あなたのお住まいはどちらですか？【1つだけ○】

- ①大久保地区 ②大沢野地区（鉄道東側）
③大沢野地区（鉄道西側） ④船峠地区
⑤小羽地区 ⑥下夕地区

■問4（自動車の運転）

あなたは車の運転をしますか？【1つだけ○】

- ①運転免許をもっていない
②免許はもっているがほとんど運転しない
③運転する

■問5（大沢野道路について）

あなたは「大沢野道路」についてご存じでしたか？【1つだけ○】

- ①知っている ②少し知っている
③聞いたことがある ④初めて聞いた

■問6（PI:パブリックインボルブメントについて）

あなたはPIという道路事業方式についてご存じでしたか？【1つだけ○】

- ①知っている ②少し知っている
③聞いたことがある ④初めて聞いた

■問7（大沢野道路事業について）

あなたは大沢野道路事業についてどの程度関心をお持ちですか？【1つだけ○】

- ①大いに関心がある
②少しは関心がある
③あまり関心はない
④全く関心がない
⑤その他（※回答はがきにご記入ください）

■問8（事業者ルート帯案について）

あなたは今回お示した事業者ルート帯案に対してどのようにお考えですか？【1つだけ○】

- ①支持する
②支持しない
③どちらでもよい
④その他（※回答はがきにご記入ください）

■問9（インターチェンジ配置案について）

あなたは今回お示したインターチェンジ配置案のうちどれが最も望ましいと思いますか？【1つだけに○】

- ①第一案（A-B-C）が望ましい
②第二案（A-C）が望ましい
③どちらでもよい
④その他（※回答はがきにご記入ください）

■問10（事業者ルート帯選定の流れについて）

あなたは今回の事業者ルート帯案を選定するまでの方法、過程についてどのようにお感じですか？【1つだけに○】

- ①満足している
②概ね満足している
③少し不満がある
④大いに不満がある
※上記②～④を選んだ方は、その理由を回答はがきの自由意見欄にご記入ください。

本パンフレットに対するご意見・ご質問をお待ちしております

（問合せ先）

- 国土交通省北陸地方整備局 富山工事事務所 調査第二課
TEL 076-424-9786 FAX 076-424-1772
- 大沢野町 建設課 TEL 076-468-1111 FAX 076-468-2642

<ホームページアドレス>

<http://www.hrr.mlit.go.jp/toyama/osawa-road/index.html>

